

10 番	富田 宗一 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 風水害における、災害対策について</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>6月から10月にかけて、台風や集中豪雨など風水害が多く発生します。</p> <p>気象庁が5月29日より運用を始めた、大雨に関する「警戒レベル」について、気象警報や避難勧告などの情報が5段階の警戒レベルに分かれました。複雑な情報をわかりやすくして住民の避難行動に繋ぐ狙いでもあります。</p> <p>気象庁の情報に基づいた、新たな避難情報の出し方も速やかに準備をして運用して行かなければなりません。</p>	<p>(1) 住民避難について</p> <p>(2) 危険箇所の点検について</p>	<p>①警戒レベル1・レベル2では「大雨・洪水注意報」が発表されるような段階です。瀬戸市では、警戒本部の準備体制の確認などに入ると思いますが、市民の自主避難への対応はどのように行われるのか伺う。</p> <p>②警戒レベル3になると避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましよとなつていますが、本市の避難対応はどのように考えているのか伺う。また、「大雨警報・洪水警報」が発表されると第1警戒本部体制で、「暴風警報」が発表されると第2警戒本部体制になるのか併せて伺う。</p> <p>③警戒レベル4では避難勧告が先に出され、その後にさらに危険があるとみなすと避難指示が出されると思うが、避難指示が出されるタイミングはいつなのか伺う。</p> <p>④警戒レベル5は既に災害が発生している状況です。市民の避難場所への移動が手遅れになった場合の対応を考えていかなければいけないと思うが見解を伺う。</p> <p>⑤避難情報はテレビ・ラジオ・安全安心情報メールなどで発信されると思うが、他にはどのような情報発信を考えているのか伺う。</p> <p>⑥避難情報を出すときに、昼間の対応と夜間の対応を考えていかなければいけないと思うが、対応はできているのか見解を伺う。</p> <p>①集落の一部が土砂災害特別警戒区域等となっている場所の基礎調査の状況はどのようなになっているのか伺う。</p> <p>②急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険渓流などの対応はどのように行っているのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。



10 番	富田 宗一 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 本市の広報運営について	<p>①市民からの災害通報及び問い合わせは一箇所に集約できないのか。また、被災通報を素早く集約して、担当部署に連絡をする体制は整っているのか伺う。</p> <p>②災害現場の確認・情報収集をするシステムは現在整っているのか伺う。</p> <p>③市民の方に風水害時の避難マニュアルなどの配布・周知などは、どのようにされているのか伺う。</p> <p>④今後、市民を対象とした風水害における災害避難訓練、または避難講習会を行うべきと思うが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。